

研修概要

県・市町村建設技術職員研修

「地質調査」 ～地質調査の基礎と活用方法～

- 目的 地質調査に関する基本的な知識を理解するとともに、地質調査結果の活用方法・積算事例・計算演習等、実務に役立つ知識を習得する。
- 対象者 岐阜県および県内市町村職員
- 研修日 令和元年10月23日(水) 10:00～
- 場所 ワークショップ24(ソフトピアジャパンセンター第3別館) 4F  
建設ICT人材育成センター 研修室 (大垣市今宿6-52-18)
- 持ち物 筆記用具、電卓
- 主催 建設ICT人材育成センター((公財)岐阜県建設研究センター内)
- カリキュラム

時間	研修内容	講師
9:30～	受付	
10:00～ (途中休憩) 12:00	地質調査の基礎と概要	岐阜県地質調査業協会 (株)アサノ大成基礎エンジニアリング 岐阜営業所 所長 広瀬 義純 氏
昼休み		
13:00～ (途中休憩) 16:00	地質調査方法 (現位置試験と室内土質試験) 地盤調査ビデオ上映 地質調査結果の活用方法 地質調査設計書作成の考え方と演習 地質調査に関連したトラブル事例	岐阜県地質調査業協会 川崎地質(株) 中部支社 技術部 部長 米田 栄治 氏
16:00	閉講	

(当日の感想)  
当日の参加者は21名で過年度とはほぼ同じ参加人数でした。  
午前の講義では、岐阜県の地質概要から始めて、土工上扱いづらい土や地下水(大垣市)、地すべり(東濃地域)など県内における土木・建築に関わる特徴を説明しました。また、ボーリング調査の基礎的な概要を簡単に説明しました。午後の講義では過年度に引き続き地盤調査のビデオを上映しビジュアルで地質調査を理解してもらえよう努めました。参加されている職員の方は入庁して間もない方から中堅・係長クラスのかたまでと経験年数も幅広く、講義のポイントを絞りづらいのですが、実際の事例を中心に興味を持って受講頂けるよう、講師の方々には工夫して講演いただきました。参加された皆様からのアンケートも後日拝見させていただくことができましたが、おおむね講義を理解されているようで安心しました。

岐阜県地質調査業協会 技術委員長 荒

井 恒多

# 研修風景

